

令和3年10月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、新規項目を登録いたしましたので、ご案内いたします。

弊社におきましてはご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので今後共引き続きお引き立ての程お願い申し上げます。

敬白

***** 記 *****

■新規受託項目

| | |
|-----------|-----------------------|
| 項目コード No. | 25921 |
| 検査項目名 | Asp f1/IgE アスペルギルス由来 |
| 検体量 | 血清 0.2 mL |
| 容器 | T1 (汎用容器) |
| 保存方法 | 冷蔵 |
| 検査方法 | FEIA 法 |
| 基準値 | 0.35 UA/mL 未満 クラス (0) |
| 実施料 | 110 点 |
| 判断料 | 免疫学的検査 144 点 |
| 所要日数 | 2~3 日 |

●特異的 IgE Asp f1

Asp f1 は、アスペルギルス・フミガーツス由来のアレルゲンコンポーネントの一つです。アレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) のうちアスペルギルス属を原因とするものをアレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) と呼び、アスペルギルス・フミガーツスは、原因真菌として最も多いと報告されています。

ABPA は喘息を基礎疾患として有する患者で発症することが多く、気道に到達した胞子が発芽・腐生し気道内でアレルギー反応を誘発して発症する慢性気道疾患です。その診断は、注意深い経過観察に従って取得した複数所見の診断基準への適合をもとに進められるため容易ではなく、数年以上かかることもあると言われています。

Asp f1 は、現行のアスペルギルス粗抽出物に対する特異的 IgE 測定に比べ臨床的特異度に優れるため、アスペルギルスに感差された喘息での ABPA の診断補助に有用であると考えられます。

■開始期日

令和3年10月18日(月) 受付分より

以上

21-1028

